

平成31年第2回那珂市教育委員会定例会 会議録

1 日 時 平成31年2月21日(木) 開 会 午後1時30分～

2 場 所 瓜連支所2階 会議室4

3 出席委員

教 育 長	大 縄 久 雄
教育長職務代理者	中 澤 明
委 員	住 谷 光 一
委 員	小笠原 聖 華

4 委員以外の出席者

教育部長	高 橋 秀 貴
学校教育課長	小 橋 聡 子
副参事兼学校教育課指導室長	沼 田 義 博
学校教育課課長補佐(総括)	会 沢 実
学校教育課課長補佐	寺 門 珠 美
学校教育課課長補佐	寺 門 征 信
学校教育課主査	増 子 之 江
生涯学習課長	高 安 正 紀
図書館館長	平 野 玉 緒
図書館副館長	飯 村 秀 樹

5 日程第1 教育長の日程報告

(1) 行事について

6 日程第2 議案

議案第6号 那珂市立図書館への指定管理者制度の導入について

7 日程第3 協議

協議第2号 平成31年度那珂市一般会計教育費当初予算案に対する意見について

8 日程第4 報告

報告第5号 後援承認について
報告第6号 指定学校変更許可について
報告第7号 区域外就学許可等について

閉会

(会議の概要)

- 大縄教育長 本日、委員が5名のうち4名が出席、1名が欠席となっております。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項の規定により教育長及び在任委員の過半数が出席しておりますので、今会議は成立することを宣言いたします。
それでは、ただいまより、平成31年第2回教育委員会定例会を開催いたします。日程第1教育長の報告について、事務局より報告願います。
- 増子主査 はい。教育長の日程報告について。
※以下、教育長の日程報告について説明。
- 大縄教育長 それではただいまの報告について質疑のある委員は挙手願います。
- 大縄教育長 意見がないようですので、日程第1教育長の報告については終結いたします。
続きまして、日程第2議案、議案第6号、那珂市立図書館への指定管理者制度の導入について、生涯学習課長より説明願います。
- 高安課長 はい。議案第6号、那珂市立図書館への指定管理者制度の導入について。
※以下、議案内容について説明。
- 大縄教育長 ただいまの議案第6号につきまして質疑のある委員は挙手願います。
- 住谷委員 指定管理者制度のことをあまり知りませんので、いま指定管理者制度から戻したという話がありましたが、その具体的な市町村とその不具合があったとか、市民のニーズに合わなかったとか、お聞かせいただければありがたいです。
- 高安課長 茨城県でありますと守谷市になります。守谷市の中央図書館になりますが、平成20年に検討を開始し、平成28年から指定管理者制度を導入した経緯がございますが、来年度から指定管理者制度を廃止しまして、直営に戻すといった検討になりました。
- 平野館長 戻した経緯につきましては、経費削減を優先した結果、専門知識を持つスタッフを十分に確保できなくて、良質なサービスが維持できないことがありましたので、協議会で協議をした結果、また直営に戻すということになりました。
- 住谷委員 図書館は、学校図書館もそうですし、市立図書館もそうですけど、図書館にもいろんなニーズがあって、いろんな機能を求められていく中で、民間に決まったとして、そこに携わる人はどうしても必要です。私はこの趣旨に賛成なんですけど、一定期間やってみても改善が難しいというのは聞いてますので、この結論については賛成で、実際の例がわからなかったものですからお聞きしました。
- 中澤委員 ちょっとわからないのでお聞きします。指定管理者制度の導入について今回初

めて導入するというわけですが、今までの那珂市はどういう制度だったのでしょうか。

高安課長 いままでは、市直営という形でやっておりました。外部の図書館であったりとか、総合公園だったりとか、そういった出先機関について行財政改革大綱の中で、外部の民間企業の力を投入いたしまして、人材であったりとか経費であったりとかそういったものを指定管理業という形で安く賄えないかというようなそういった方向性を出したのが3年前で。

高橋部長 指定管理者については、行財政改革大綱の中にございまして、その中で各施設いくつか候補があったんですけど、指定管理がおこせそうな検討がありました。各施設を検討した結果、指定管理者、運営そのものを民間に渡ったところが那珂聖苑、那珂聖苑の方は民間に変わっております。

市から指定管理者の方に運営を委託して、経費節減と職員の確保のメリットがありますので、図書館につきましても、同じように、民間に委託しているところも全国的には何か所かありますが、専門業者が少ないのでツタヤと図書館流通センターの2か所しかやってないので、守谷の例もありますから、逆に民間委託をやってサービスの低下、あるいは決められた指定管理の中で運営を行うとなると、人件費もしくは書籍の経費を削減することで事業者の方は利益を得るという形になります。

守谷の例で申しますと、人員の確保がなかなか難しいので、専門的知識を持った職員が確保できず、司書の資格を持った方が行っていたことを、一般的に賃金を抑えるって形で、専門的知識をもった人材が揃わないことと、図書館そのものが尺度をもっていないので、利用者数が極端な話目安になる。利用者数を単純に上げるには、変な話、ベストセラーを10冊入れて貸し出せば貸出数が上がりますが、図書館の場合、利用と保存ですかね、その大きな役割が担えない、専門書や古書といったものを蓄積していくという使命が、それが果たせないということで、守谷の方は、第三者委員会を立ち上げまして、民営化は不適切だよという結論に達して、切り替えた経緯があります。

うちの方で指定管理はしないという結論を出したからいうわけじゃないんですが、民間に委託したからって、既存の良さが出てるってわけじゃないのが実情であります。そういった背景がありまして、うちの図書館の協議会で審議をお願いしまして、協議会の中でいろんな調査を行った結果、指定管理者制度はあわないということで図書館の方で結論を出したというわけです。最終的には市の判断になります。運営そのものは。教育委員会としては、指定管理を行わないということで結論を出したということです。

中澤委員 よくわかりました。

住谷委員 図書館でなくてはいけなかったんですか。その指定管理者制度を採用するのは。

高橋部長 いくつか候補がありまして、総合公園であったり、団体ですと、体育協会とか、そういった団体についても、行政からの自立化ということで検討しろというこ

とで今そういう再編をしております、図書館については協議会を尊重して、こういったものを出したというわけです。

大縄教育長 その他ご意見はございませんか。意見がないようですので、議案第6号については原案のとおり採択することで意義はございませんか。

全委員 ———異議なし———

大縄教育長 異議なしと認め、本件につきましては原案のとおりといたします。続きまして、日程第3協議、協議第2号、平成31年度那珂市一般会計教育費当初予算案に対する意見について、学校教育課長より説明願います。

小橋課長 協議第2号、平成31年度那珂市一般会計教育費当初予算案に対する意見について。
※以下、議案内容について学校教育課分説明。

高安課長 ※以下、議案内容について生涯学習課分説明。

大縄教育長 ただいまの協議第2号につきまして質疑のある委員は挙手願います。

小笠原委員 まず、教育指導費のところで、障害児学習活動支援事業とか教育支援センター設置事業について人員増に対応をしていただけたということで、柔軟に対応していただいて、多分これから小学校、中学校では、本当に助かるんじゃないかなと思います。特に、最近の話じゃないんですけど、ここで人が増えるということは虐待が問題になっているんですけど、それを未然に防止するっていう意味でも、どれくらい関わられるのかわからないんですけど、いま虐待事案でほとんど必ず警察も絡めなくてはならないところで難しいことではあるんですけども、それをひどくなる前に、いろいろと支援に行けるってところではよかったと思いました。

それから英語のALTの増員については、やっぱりこれから小中の指導要領もそうなんですけど、何よりも大学受験もヒアリングだけじゃなくて、もしかしたらスピーキングも入試に入ってくることを考えると、しっかり人で、まず全体で英語に対する興味関心をひくというのは、対人ですごく培われると思われるので。ただ、今後、例えば、個人的に塾に行っているとか、そういう子たちの中で、もしかしたら、そう大きな差ができてしまうところでもあるかなっていうところの心配もあるんですけど。英語はいま人でカバーするとと同時にICT化でうまく、そういうものを利用しての学習っていうのもかなり進んでいるので、しっかり、前回ICT関係では予算立てをしていただいて、各学校へのタブレットなどを配置していただけたので、そういうものも英語の中に取り入れるということで、いまの子どもたちは、動画であるとか、タブレットの扱いに慣れていきますので、そういうことで、興味関心を持つだけじゃなくて、さらにもっと高度な本当に英語で自由にコミュニケーションできるようなことも、授業の中に取り入れるってところでは、人だけではなくて、そういう機

も活用できるのかなと思う感じがします。

大縄教育長 ありがとうございます。その他いかがでしょう。

中澤委員 私も教育指導費の中で、さっき小笠原委員がおしゃってたように、教育支援センター設置事業の中で、相談員が1名増というのは非常に良かったことかなと思っております。そして、この中で協力員というのは子どもたちの学習支援をする人を指しているのでしょうか。

小橋課長 協力員というのは、民生委員の中の主任児童委員さんを6人委嘱している嘱託員という位置づけで、各学校で相談を受けているという形です。

中澤委員 各学校に行って、その方が6名いらっしゃるということですか。

小橋課長 そうです。

中澤委員 センターにいらっしゃるわけじゃないんですですね。

小橋課長 身近な相談員ということで。

中澤委員 7番のところで、ここに読んだ中において、さきほどALTが増えたのはわかったのですが、英語指導助手1名についても、説明をお願いしますか。

小橋課長 英語指導助手というのはALTのことなんです。今年度10人いるんですが、1人は直接雇用のALTです。それがこの英語指導助手の1名というもので、それ以外に派遣委託業務に他にいますということです。

中澤委員 17番の小中一貫教育推進事業の中において、非常勤講師9名の人件費、教科担任制を推進するための非常勤講師っていうのは、具体的にはいま、どのようになっていますか。

小橋課長 小学校5、6年生で、教科担任制を導入していますので、そのための非常勤講師なんですけど、理科プラスアルファで、理科は確実に行ってもらって、その他、国語であったり音楽であったり、算数であったり、各学校でお任せして学習指導をしています。

中澤委員 そうすると、この9人の場合においては、各学校においては、理科の先生が確保できているよと言った場合には、ある程度余裕をもって他の教科を実施できるよう、9校分の予算を確保しているって形で理解してよろしいでしょうか。

小橋課長 はい。各学校に非常勤講師をはりつかせておりますので、それぞれご希望の教科、音楽であったり、国語であったりということではりつけております。

中澤委員 官学連携事業という中において、ここの中に書かれてある中で、大学等の相互連携協定に基づき連携していく、教職員や児童生徒との学習会や研修とあるが、具体的には、日大に中学生が行ったものは写真で見せてもらったのですが、あとはどのようなことをやっているのか、具体的に教えていただければ。

小橋課長 これは平成29年度から日大との官学連携を始めたことで、初年度はキャンパス見学で中学2年生を20名程、日大の方に連れて行きました。さらに拡充した形で今年度は、キャンパスツアープラス、プログラミング教育をテーマに大学の先生がこちらに来てくださって、子どもたちに教えてくれたり、教職員に対して研修を行ってくれたり、そういう取り組みを今年は新たに付け加えたところです。また、次年度に向けてどのようなことができるか、いま協議しながら進めているところです。

中澤委員 小学校費のところにいきまして、各学校の管理事業の中で、マイナスのところもあればプラスのところもあります。特にこのマイナスの額田小、菅谷西小、木崎小なんかは大幅に10万円のマイナスですが、プラスのところもといっても、5万円や8万円とかになってますけど、なんでこんな、でごひごができたのか1つ不思議に思ったことと、あと1つ、35番スクールバスの運営事業で、マイナス、これだけ減になっております、大幅な40万ほどの減少になってますけれど、大丈夫なのかというところをお聞きしたいと思います。

小橋課長 はい。まず各学校の事業費、これが管理事業費、次のページも教育振興費の方でもマイナスになっています。これはマイナスになったことで事業内容が縮小されたということではなくて、実は予算の配分が各学校の配分額と児童生徒割で、例えば消耗品だったら1人当たり2,100円をかけるとか、そうことで配分するので、児童生徒数が減ったところがマイナスになっているんです。ただ、先ほど言った西小はマイナスになっていますが、児童数は増えているんですけれども、増えた分は加算しています。ただし、これまで西小は特別支援学級の取り組みの事務局になっていまして、特別支援学級の子どもたちを遠足に連れて行くバス代をここに計上していたんですが、これを教育委員会の事務費の方にもってきたこともあって、ここがマイナスになっています。あとは、研究指定校加算といって、今年度は芳野、木崎小に加算をつけたのですが、今度は、研究指定校が移るので、指定校が終わったところは減額になるし、指定校になったところは増額になります。そういったところで、プラス、マイナスになったりします。ルールに則った形で配分しているというところです。あとはスクールバスですね、戸多地区と本米崎地区で運行しています。そのうち戸多地区のスクールバスが今回契約更新の時期に当たっておりまして、新たに来年度から5年間の入札を行った結果、金額が減ったんです。入札の結果です。

中澤委員 ありがとうございます。

大縄教育長 その他いかがでしょうか。

小笠原委員 生涯学習課の成人式開催事業で、参加しているのは、28、29、30の式典なのか、29、30、31の式典なのか、ちょっと教えてください。

高安課長 最後は31の式典になりますね。

小笠原委員 29、30、31ですね。

高安課長 今年の1月12日に行った人数になります。失礼しました。最後を31に訂正願います。

小笠原委員 コミュニティースクールの推進事業は、生涯学習課の予算ですか。学校教育課の予算から生涯学習課に移動するわけじゃなくて、そのままです。

高安課長 実施は生涯学習ですが、生涯学習の予算の表には入っておりません。

小笠原委員 コミュニティースクールの中では、お金は自分で取ってこい、というキャッチフレーズでいま動いていますので、がんばります、という話です。

高安課長 よろしくお願ひします。

中澤委員 コミュニティースクールや学校評議員制度をずっと教育委員会で継続していくのか、要するに、瓜連地区はコミュニティースクールがあり、他の学校は学校評議員制度の中で、ずっとこのままで行くのかどうかちょっと教えていただければと思います。

沼田室長 大きくくりの中でしかお話しできないんですけど、現時点では検討中のところもあるんですけど、学校運営協議会制度、コミュニティースクールって略称で使っちゃうんですけど、正式には、学校運営協議会制度といいます。この制度と学校評議員制度とは併用はしないというところで、瓜連地区の場合には、学校運営協議会制度を取り入れているわけで、今後の見通しとしては、那珂市独自の、国から降りてきている学校運営協議会制度というものの指針が国にはある程度明確にあって、学校運営協議会制度には、こういう権利を盛り込みなさいというものがいくつかあるんですけども、そういうのにあまり縛られないで、那珂市独自で、例えばなんです、額田地区だったら、だいたい地域が培ってきたコミュニティがあったりするわけなんですよね。そういう地域のシステムを使いながら、地区にあった学校運営協議会制度、独自の制度っていうものがないかっていうことを、今後は目指していく方向です。ですから、学校評議員制度はそのまま維持して、すべて制度とかメンバーを切り替えるのではなくて、学校運営協議会制度のいいところは取り入れる、組織を全面的に改正するのではなくて、内容的な部分で見直しを図ってはいけな

かってことを今後検討していく方向ではあります。

中澤委員 そうすると、要するに、いま統合そのものが難しいと。

沼田室長 国から降りてきた学校運営協議会制度に全部切り替えていくということは考えてございません。

中澤委員 つまりコミュニティースクールっていうのは一番最初の出発点は、県か国からの補助か何かでスタートしたんですよね。

沼田室長 国のまた名前は違う大きな枠組みの事業があつて、その中でいろいろと変遷しながら、ちょっと落ち着いてきた感がありますね。結構各地で見直しを図られてきているようなところもあるので、そのあたりは、本当にいい形で何かを見据えながら、那珂市独自の形を地域に負担をかけない範囲でやっていけたらいいなと考えております。

中澤委員 61番、このところを教えていただければと思います。中学校費の中の運動部活動外部指導者派遣支援事業の中で、指導者は何人なのでしょう。指導者は一中と四中の柔道で2人と書いてあるけれど、保険料が4人と書いてあるので何人なのかなと不思議に思ったものですからお聞きします。

小橋課長 今年度の実績を申しますと2人です。一中と四中の柔道部の指導員を配置しています。予算的には、例えば、先生の異動で、他の学校で柔道の指導ができる人がいなくなっちゃったというときには、それに対応しなくちゃならない。あとは、他のバスケットやテニスとかありますけど、指導ができる人がいないときのために2人余裕をもたせた予算になっています。実績としては、今年度並みの一中と四中の柔道部を見込んでいます。

中澤委員 いま現在のところは、一中と四中の柔道部の指導者の話ということですね。

小橋課長 はい、人事異動でわからない所がありますから、入っています。

大縄教育長 その他いかがでしょう。

住谷委員 さきほど、指定管理者の話ができましたけれど、図書館費27番ですか、嘱託職員を1人減じておられますよね。これは削減のための減なのか、それとも都合でやめられての減なのか気になったものですから。

高安課長 期間満了といたしますか、司書ではなくて、事務的なことを行っていた方が、年齢制限により退職となるため一人減という形になっております。

住谷委員 補充はされるんですか。サービスの低下にもつながるような感じもしないわけでもないんですが。

高安課長 同じような方に来ていただければとは思っているんですが、この後は、地公法の関係で、嘱託制度がだんだん変わっていつてしまう状況にあるものですから、今年度につきましては、当初においては計上はしなかったんですけども、再任用制度であったり、そういった部分で、派遣対応で考えているところではあるところなんですけど、今のところ、職員については減員という形になっております。

住谷委員 わかりました。

大縄教育長 その他ございませんか。

中澤委員 さきほど、かわまちづくり支援制度活用事業の話がありました。那珂川の縁だになってことは、橋の方からちらっと見たことはあるんですが、今度はそこに、表面整備工事等市負担分と書いてあります。具体的にはあそこには何を造るのでしょうか。

高安課長 樋管より北側の部分につきましては、多目的グラウンドとしまして、サッカーコートが2面とれる芝生張りのものが整備されることになっています。それと樋管の南側下流につきましては、舗装された駐車場が一部と砂利で多目的に使うものですが、少年用のサッカーコートが4面ほどの広場を造る予定になっています。その2つと、行く行くなんですけど、川で遊べるグラウンド、水が流れてこないワンドとよばれているところがあるんですが、そこで水遊びができるような整備であったりとか、その樋管から流れてくる水を利用した水遊びができるようなところを造ることになっています。供用開始を考えているのは、34年の4月1日を予定として考えているところでございます。

中澤委員 とりあえずは、サッカーのグラウンドができると。

高安課長 多目的グラウンドとして、サッカーコートが2面とれる大きさということでございます。

小笠原委員 授業参観で二中に伺った時に、額田小学校との交流をスカイプでやっていた時があるんですけど、非常につながりが悪くて、現状の容量ではこれが限界だって説明があったところなんですけど、今後、小中一貫の交流であったり、英語の授業であったりってところに、パソコンをうまく使うためには、コンピューターの管理であったり、システムのグレードというか、すごく必要になってくると思うので、人を配置していただいて、それにさらにグレードアップを求められるわけですが、そういうところにも厚くしていただいて、今度は人がそこに行かなくても、何らかの交流が図れたり、または授業で交流ができることを考えると、リース料であったり保守料が更新の後で減額ってことになっていると思うんですけど、今後はこの分野をもっと厚くしてほしいなと思います。

小橋課長 ICT教育の環境整備っていうのはすごく課題です。各校にタブレットを配布しました。また、契約が切れてしまったICT支援員、専門の方を派遣してもらうのも、これまでは、保守契約の中に入っていたんですけど、契約から外れちゃったんで、これも単費で、本当に要望を出して、ICT支援員の継続派遣も、今年度予算を確保したということで、ICT教育は進んではいるんですけども、予算がすごくコンピューターICT教育はかかる場所があつて。ただ、切り口としてはICT教育のコンピューター、教育用コンピューターの環境整備と、もう1つ移動を伴わない小中一貫教育の交流事業という切り口からも、どちらの事業にしても環境を整えていかなきゃいけないものなのかなと、お話を聞きながら思いました。これはまた次年度に向けた課題となっていくもので頭に入れておきたいと思います。

大縄教育長 その他いかがでしょう。

大縄教育長 よろしいでしょうか。
それでは意見が出そろいましたので、協議第2号につきましては同意することに異議はございませんか。

全委員 ———異議なし———

大縄教育長 異議なしと認め、同意したものとして予算案として答申します。

大縄教育長 続きまして、日程第4報告、報告第5号、後援承認について、事務局より報告願います。

寺門(征)補佐 はい。報告第5号、後援承認について。
※以下、報告内容について説明。

大縄教育長 ただいまの報告につきまして質疑のある委員は挙手願います。

大縄教育長 よろしいでしょうか。意見がないようですので、報告第5号については終結いたします。
続いて報告第6号、報告第7号ですが、個人に関する案件の為、非公開とすることを提案いたします。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項及び那珂市教育委員会会議規則第15条の規定により公開しないことにご異議ございませんか。

全委員 ———異議なし———

大縄教育長 異議なしと認め、これより会議を非公開といたします。

———非公開———

大縄教育長 以上で本日の議案等はすべて終了いたしました。
そのほか事務局よりお願いいたします。

会沢総括 はい。お手元に配布しております毎月の放射線量測定結果についてご説明申し上げます。各小学校及び幼稚園、中学校、社会教育施設の放射線量につきましては、2月の測定結果につきまして、異常な数値は検出されませんでした。それぞれ数値につきましてはお読み取りいただきたいと思っております。
給食の食材の1月分の放射性物質の検査結果でございますが、こちらの方も放射性物質の方は検出されておられませんのでご報告いたします。以上でございます。

大縄教育長 その他事務局の方からはよろしいですか。そのほか委員さんから何かございますか。

大縄教育長 よろしいですか。ないようですので、以上で平成31年第2回教育委員会定例会を終了いたします。

～ 終了 午後2時37分

会議録調製年月日 平成31年2月21日

会議録調製者 学校教育課長 小橋 聡子

会議録署名人 那珂市教育委員会教育長